

事務事業名		関谷轆轤石線水路改良事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業																										
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目																										
	施策名	05 地域環境の保全と共生				会計	款	項	目																							
	基本事業名	02 良好な生活環境の保全				01	08	03	02																							
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ																												
所属	部課名	都市整備部建設課		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)																												
	課長名	菅原博幸		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】																												
	係名	土木係	電話	0192-27-3111	平成25 年度～平成26 年度																											
	担当者	新沼大輔	内線	316	※全体計画欄の総投入量を記入																											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																												
<p>東日本大震災により甚大な被害を受けた大船渡市において、高台移転等の整備が行われているが、その一つである立根町下欠地区災害公営住宅建設地に隣接する未整備の水路改修を行い、生活環境の向上を図るものである。</p> <p>本水路の整備は、延長120mとする。</p> <p>【計画期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・測量調査設計(1式) 平成25年度～平成26年度</li> <li>・工事施工(120m) 平成26年度</li> </ul> <p>事業費は、委託費、工事費、事務費として支払われる。</p>				<table border="1"> <tr> <td rowspan="10">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計(A)</td> <td>12,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>1,030</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>4,120</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>16,620</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他	10,000	一般財源	2,500	事業費計(A)		12,500	人件費	正規職員従事人数	6	延べ業務時間	1,030	人件費計(B)	4,120	トータルコスト(A)+(B)		16,620
総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金																														
		都道府県支出金																														
		地方債																														
		その他	10,000																													
		一般財源	2,500																													
	事業費計(A)		12,500																													
	人件費	正規職員従事人数	6																													
		延べ業務時間	1,030																													
		人件費計(B)	4,120																													
	トータルコスト(A)+(B)		16,620																													

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
測量調査設計(1式)		ア	施工延長
工事施工(120m)		イ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
事業完了のため無し		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称	
市道関谷轆轤石線の水路		単位	
周辺住民		カ	計画総延長
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ	周辺住民数(路線周辺の世帯数×1世帯当り 平均人口+災害公営住宅入居者)
(未整備の)水路が改修される。		ク	
(周辺住民の)生活環境が改善される。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		名称	
良好な生活環境を維持する。		単位	
		サ	改修済延長
		シ	整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円			0	9,746		
		一般財源	千円			0	2,436		
	事業費計(A)		千円	0	0	0	12,182	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人			3	2		
		延べ業務時間	時間			120	380		
		人件費計(B)	千円	0	0	480	1,520	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	480	13,702	0	0
⑤ 活動指標		ア	m			0	120		
		イ							
		ウ							
⑥ 対象指標		カ	m			120	120		
		キ	人			70	70		
		ク							
⑦ 成果指標		サ	m			0	120		
		シ	%			0	100		
		ス							

事務事業ID	1612	事務事業名	関谷轆轤石線水路改良事業
--------	------	-------	--------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	当該事業は、災害復興公営住宅等の建設と並行して、敷地部に接する水路を改修することにより、周辺住民の生活環境の向上を図るため復興交付金申請を行い、平成25年度から事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	地域の理解が進み、協力的になった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	地域から、早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 水路を改修することにより、水の流れが良くなり施設管理が容易となり、生活環境の保全につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設の水路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 水路を改修することにより、周辺住民の生活環境が改善されるので、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 未改修区間の延長となっていることから、これ以上の成果向上余地が認められない。(全計画延長の整備を行わなければ、この事業の目的が達成されない。)
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 周辺住民の良好な生活環境が維持できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 個別事業であり、他に手段はない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

事務事業ID	1612	事務事業名	関谷轆轤石線水路改良事業
--------	------	-------	--------------

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<p>① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>		適切な事務執行が行われた。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
<p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>平成26年度に事業完了した。</p>		<p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。</p> <p>(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	建設課長	菅原博幸
-------	------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
<p>① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
<p>① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>		測量調査設計が繰越となったが、適切な事務執行が行なわれている。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
<p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>平成26年度に事業完了した。</p>		<p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。</p> <p>(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

### 5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
---------------------